



社協だより No.125

2009年1月

笑顔とまごころの社協におまかせください。

ふじさと

新学期スタート!!



学童保育も元気に始動です。寒さなんてへっちゃら！笑顔があふれています。

★皆さんからの写真を大募集！くわしくは裏面を見て下さい。★

発行：藤里町社会福祉協議会

〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字三ツ谷脇40
TEL0185-79-2848 FAX0185-79-3330
ホームページ fujisato-shakyo.com
メールアドレス info@fujisato-shakyo.jp



◎ この広報は共同募金からの配分金で発行されております。



年頭にあたって



藤里町社会福祉協議会

会長 小森 正直

新年明けましておめでとう
ございます。

町内の皆様におかれましてはご家族揃って素晴らしい年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

毎年地域の皆様から社会福祉協議会へのご協力とご支援に心より感謝申し上げます。

お蔭様で地域福祉推進事業は皆様のご理解ご協力のもと行う事が出来ました。誠にありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。

また、昨年四月秋田県共同募金会から赤い羽根普恵の配分車両を賜り役員一同喜んでおります。この善意の新しい車両を頂きまして当社会福祉協議会職員が張り切って地域福祉推進のために頑張っております。

七月には第三十三回藤里町社会福祉大会開催、講師に東京国際大学中島修氏を迎え、藤里町地域福祉活動計画について講演を頂きました。本当に意義深いお話でした。

八月二十八日～三十日迄の三日間第十四回地域福祉実践研究セミナーが開催され、この開催に当たって各地域からセミナー実行委員会及びたくさんの方のご協力を頂き大盛況に開催出来ました。日本地域福祉研究所大橋理事長の講話の中で「つながりがつくる元気の出る町づくり」と数々のお話を聞き大変勉強になりました。お蔭様で藤里町社会福祉協議会も人口わずか四千余人たらずの小さい町ですが秋田県内でトップクラスまで成長して来ました。地域の皆さんに感謝申し上げます。

現在社協職員も四十数名と大家族となりました。本年も社会福祉協議会役員一丸となつて地域の皆様と喜ばれる生きたサービスを行いソーシャルワーカー育成に取り組んで参ります。

今後共社会福祉協議会へのご協力をお願い申し上げます。

本年もよろしくお願ひいたします

《地域包括支援センター》

「こまった」ときは、まずご相談ください。解決の糸口を一緒にさがしていきます。

《ヘルパー事業所》

掃除・洗濯・買物・介護の必要な方の見守り、薬受けなど利用者の方々住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう、お手伝いさせていただきます。

《源さんクラブ》

介護予防を目的とし、多様にお応えした「元気の源さんクラブ」を展開中です。

○元気の源さんクラブ

毎週1回開催しています。

○出張！元気の源さんクラブ

各地区へおじゃましております。

○源さんクラブ みんなの縁側

介護者のみなさんが対象です。

《ケアマネ事業所》

「藤里町で暮らし続けたい」「退院して自宅で暮らしたい」不安な気持ちに寄り添い、安心の生活プランづくりをお手伝いします。

《デイサービス》

近頃外出がおっくうと感じる方、ひとりでの入浴が不安な方、介護の必要な家族がいらっしゃる方等一せひ一度、デイサービスを見においで下さい。

《シルバー人材センター》

寒い日が続き雪も降ってまいりました。シルバー人材センターでは、雪よせや煙突掃除なども承っております。お気軽にご相談ください。

＝笑顔とまごころの社協におまかせください！＝
職員一丸となって対応いたします。

平成20年度

歳末たすけあい運動の報告

平成20年度歳末たすけあい運動にも、皆様からあたたかいたくさんの募金が寄せられました。いただいた募金は、地域で支援を必要とする方やそのご家族が、元気に新年を迎えられるよう、年末に見舞金品として贈呈いたしました。町民の皆様のあたたかいご協力に、心から感謝申し上げます。

募金総額 494,565円

困窮世帯(11件) 45,000円	要介護高齢者(46件) 91,500円	介護者(46件) 138,000円
在宅障害児(者)(7件) 35,000円	準要保護児童生徒(7件) 21,000円	配分原資充当金 3,000円
贈呈経費 41,065円	障害者福祉施設入所者(15件) 45,000円	町内福祉施設(7件) 75,000円



【福祉員研修】

平成20年11月12日～13日

山形県鶴岡市、酒田市にて心身障害者コロニーの視察と鶴岡市社協との研修を行ってきました。



【ふれあい弁当】

平成20年11月12日・12月20日

藤里町ボランティア連絡協議会会員の皆さんにより手作り弁当をつくっていただきました。70歳以上の一人暮らし高齢者の方へお届けいたしました。



【高齢者男性料理教室】

平成20年11月27日・12月5日

身近な食材を使って手の込んだメニューに挑戦しました。



こんなことがありました

11月5日
行事より

【一人暮らし高齢者交流会】

平成20年11月4日

44名参加し、八峰町の方々との交流を楽しんできました。

【介護者の集い】

第2回目として平成20年11月6日～7日

宮城県、山形県へ。17名参加していただき、日頃の疲れをいやし心身ともにリフレッシュをしていただきました。



今昔物語



川村ミズさん
《92歳》

「当時を思うとよく暮らしてきたもんだ。こんな世の中になるなんて思ってもみなかった」とおっしゃる川村さん。七十数年前を振り返りお話を伺いました。

「小さな頃から外で遊ぶのが好きだった。ワラジを履いてとにかく野山で駆け回っていた。」

十六、七の頃「しよいもの」といって山小屋で働く大人たちへかこいっばいの野菜や食糧を運んだり、土下、ガソリン保線での作業冬はソリ引きなどで家計を助けた。夜はランプの明かりで針仕事。藤袴にすれば、電気がついていなくなった。まあ、お祭り、お盆正月くらいはなかな。普段は糖漬の魚しか食べられないけど、お盆と正月は生魚が食べられた。それがおいしくてね。さめ、タラ、カレイ、春ニシン今ほど種類はないけど、あの頃食べた味が忘れられない。野菜だって、大根、キャベツ、白菜なんか豊富で、めずらしいものだったよ。戦争中は田んぼが小さいのに米を徴収されて、山菜やカボチャ、イモでかさ増しして食べたもんだ。戦争に負けると日本人は一人残らず殺されると言われていたが、終わったとたんに物が食べられるようになったんだよ(笑)

結婚して子をもっても、妻が面倒みてくれたから、外さ働きに出た。一生懸命働いたよ。年々物事が進歩してみるみる生活が変わった。便利な世の中になった。ないものがないからね。今の若い人がつらやましいよ。」

八十四歳になるまでの三十年間アオサダの内職を続けた川村さんは今でも手先が器用。なんでもやってみたいの。さぞかし勉強家と思えば、「小さな頃から勉強は苦手。本開けば体がムズムズしたもんだ」と苦笑い。

畑がすき、人と話るのがすき、いくつになってもさんはちいさなこいっばい。うれしくない。笑顔がとても印象的な川村さんでした。

みんなの善意

11月~12月

◇次の方々から、こころ温かい寄付がありました。ありがとうございました。
これらの寄付金は、地域福祉活動のため、大切に使用させていただきます。

香典返し

- 菊地光則さんから
- 齊藤忠治さんから
- 石川安信さんから

一般寄付

- 小林勝広さんから
- 淡路春市さんから
- 淡路学さんから
- 細田フツエ子さんから
- 村岡順一さんから

藤本信昭さん
黒沢トイレ募金箱
収益金
小林チエさん



(藤本さん寄付)

知ってトク
使って幸せ
便利用具

こんなの あります!②

あけにくいふたをあけます!

手の不自由な方でも簡単操作

直径2cm~8.5cmの蓋に対応



ブルトップ缶オープナー



びん蓋開け(2個セット)

お問い合わせは社協へ

今後の行事

2月

中旬 福祉座談会
12日(木) 専門相談所(開発センター)

3月

12日(木) 専門相談所(開発センター)

雪の季節になりましたね

寒さも厳しくなり冬本番になってまいりました。藤里町役場並びに社会福祉協議会では、地域で頑張って頂いている方々を支援するため、今年も除雪に関する様々な事業を展開してまいります。地域・個人だけでは対応しきれない場合には、各地区の民生委員、福祉員と相談の上ご連絡ください。

ポランティアによる除雪活動
・年数回実施予定

シルバー人材センター(登録している方による除雪作業)
・一時間(雪よせ)1,050円
(排雪など作業内容により別途料金あり)

町の高齢者等宅除排雪事業
・藤里町高齢者等宅除排雪事業実施要綱により行われます

◎詳しいお問合せは
藤里町町民生活課健康福祉係
藤里町社会福祉協議会
79-79-2113
79-12848

大募集

●社協だよりの「表紙」の写真を随時募集します。
くわしくは社協まで

田中昭一さんよりお写真が届きました。趣味でよく写真を撮られるそうです。



「峨環の滝」

あしがき

「願いごと」
お正月飾りや門松を焼き上げ、その年の健康を願う「どんど焼き」。この火で書き初めの紙が高く舞い上がると字が上手になるとか体にあてると丈夫になる、尻をあぶれば長生きする、残り灰を体にまぶして無病息災を願うなど地方で謂れがあるようです。

今年も、この小さな町からどんど焼きの炎に世界平和を祈願しました。世界平和ということ、私も平和であり、世界も平和であるということ。なんて合理的な、スケールの大きな、かつ、ありがたい願いでしょう(笑)
どんな年になるのかな。まずは神頼みから始まる一年です。